

式辞

記録的な暖冬の今年、観測史上最速で開花した桜に迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

例年とは異なる形とはなりましたが、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和元年度第七十三回卒業式が挙行できますこと、厚く御礼申し上げます。

いつもの年であれば在校生が準備してくれている、皆さんの胸の花も、校舎内のさまざまな飾りつけも、休校の間に先生方が夜遅くまで残って作り上げてくれました。皆さんの卒業を心からお祝いしています。

去年はラグビーワールドカップで「ワンチーム」という言葉が使われましたが、日本人は、「絆」の強さでこれまでも様々な困難を乗り越えてきました。どんなに研鑽を積んでいても、一人一人ができることは小さなことです。和親の精神で絆を大切に様々な分野の人たちと協力していくことが大切です。

今回、卒業間際にコロナウイルス対策での臨時休校となりました。一ミリメートルの一万分の一という小さなウイルスのために、このような事態となりました。難しいのは、相手が目に見えないことと、若い世代の多くは、感染しても症状が出ないため、その間に他の人に感染させてしまうことです。本校の教育目標である心身ともに健康な生徒として、規則正しい生活、バランスの良い食事、適度な運動で免疫力を高めることで、皆さんは普通に生活出来るでしょう。しかしこれまで通りの生活をしているだけで、高齢者や基礎疾患のある人を重大な危機にさらす可能性があることを自覚して、きまわりを守り、思いやりのある生活が求められています。

人という漢字は二人の人間が支えあっている姿と言われますが、今は距離を詰めて作業することが危険な状況です。自ら考える、粘り強くやり抜く姿勢と、伝統を尊重し、郷土を愛する精神を大切にしてこの状況を突破してほしいと思います。小さなウイルスに負けない、家族や、地域、仲間との固い絆でこの試練を乗り越えて下さい。

結びとなりますが、卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、心からお喜び申し上げます。家族から経済的・精神的・社会的に自立し、持続可能な社会の担い手となっていく生徒たちを、今後暖かく見守ってくださいますようお願いいたします。校長の式辞といたします。

令和二年三月十九日

西東京市立田無第一中学校 校長 山本一幸